

廃棄物の削減や新素材の研究開発も推進 環境負荷削減の取組みを紹介する展示会

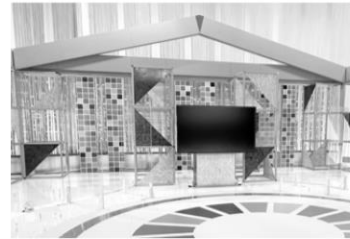
NHK アート

総合美術会社とNHK

の番組美術をリアルからデジタルまでワンストップで担うNHKアート（東京都渋谷区、平田恭佐社長）では、2021年12月に社内ですべて「SDGsに配慮した美術セットの研究・開発に社を挙げて取り組んでい



サステイナブルな美術制作の実践と提案展「action つくるみせる すてる」



『1.5℃の約束』セット（放送：2022年）

る。環境に配慮した美術制作のためには、新素材のリサーチや試作を行い、見た目、安全性、使い勝手などを検証してセットをつくること、その素材を実際の番組や展示・イベントの場に活用して「みせる」こと、そして使用後の廃棄のしかたやリサイクル方法など

の「すてる」ことまでを見据えてコーディネートする必要がある。2023年3月、NHKアートの仕事を象徴するこれらの「つくる」「みせる」「すてる」という3つの視点から、これまでの開発研究の活動とこれからのサステイナブルな美術の提案をNHKアートの「action」として紹介する、社内展示会「action つくるみせる すてる」を開催した。

来場者からは「美術業務とSDGsが密接に関わっていることを実感した」「実際に実務に使用したい」「番組制作全体の意識変革を後押しする姿勢を応援する」といった声が寄せられ、担当者は「小さい展示会だが社内プロジェクトの取り組みを目に見える形で外部に発信したことは大きな一歩になった」と話している。

◇ 展示会の概要は以下の通り。

▽会期：2023年3月1日～3日

▽会場：NHKアート会議室

▽対象：NHKアート従業員NHK、NHK関連団体、協力会社。

展示内容は「環境にやさしいセット素材」カタログ帖作成、美術セットや展示仕器にサステイナブル素材を活用した番組事例、イベント業務事例を紹介、バイオマス・生分解性プラスチックから作られた環境負荷の少ない生地を紹介、作業の効率化と運搬・保管量の削減に繋がる軽量の美術パーツの紹介。

また、「1.5度Cの約束」を止めるために「高上昇を止めるために」

で使用されたセットも紹介した。2022年9月25日に放送された同番組の番組セットにNHKとNHKアートが協働で研究・開発を進めるサステイナブル素材が使用された。同番組は、国連と「SDGsメディア・コン

パクト」に加盟するメディアが気候変動対策に取り組むキャンペーンの1環として放送されたNHKと民放キー局によるスペシャル番組で、NHKアートは番組の美術制作・美術進行を担当した。

なお、番組セットデザインはNHKデザインセンターのデザイナーが担当している。

番組セットには、板段ボールで化粧された梁、角紙管で製作したフレーム構造の柱、その内側には、廃棄衣料や廃材を利用したボードを設置した。背景にも再生プラスチック製のカラフルなボードを使用するなど、ほぼすべてのセットにサステイナブルな素材を活用している。番組収録後、セットは繰り返し使用（リユース）できるよう保管し、使用しないものは再資源化（リサイクル）できるよう、分別を実施し、廃棄物がほとんど出なかつたという。通常の業務でも分別は徹底しているが、今回は特に廃棄物の削減を実現し（リデュース）、番組コンセプトにマッチした、環境に配慮した美術セットになったとしている。

現在、NHKアートでは、自社の提供した衣装を含む廃棄衣料を原料の一部に使用して製作するデザインボードや、サステイナブル素材の塗料、マイクロプラスチックを使用しないファンデーションなど、新素材の研究・開発を進めている。多様化する社会や時代の変化に向き合い、持続可能で新たな価値を創造し続ける体制を構築し、これからも総合美術会社として放送文化の発展を支え、時代に合わせた質の高い映像美術の追求を続けていくとしている。